

# 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現 金	8,362	30,010	△ 21,648
預 金	3,220,826	5,111,166	△ 1,890,340
有価証券	1,275,262	1,528,997	△ 253,735
仮 払 金	24,114	28,172	△ 4,058
流動資産合計	4,528,564	6,698,345	△ 2,169,781
2 固定資産			
(1) 特定資産			
実施事業等引当資産	34,837,704	46,705,745	△ 11,868,041
役員退職慰労金引当資産	3,600,000	3,600,000	0
職員退職給付引当資産	885,000	1,499,100	△ 614,100
特定資産合計	39,322,704	51,804,845	△ 12,482,141
(2) その他の固定資産			
土 地	946,000	946,000	0
建 物	3	3	0
構 築 物	1,525,599	1,565,073	△ 39,474
什器・備品	28,017	41,705	△ 13,688
その他の固定資産合計	2,499,619	2,552,781	△ 53,162
固定資産合計	41,822,323	54,357,626	△ 12,535,303
資産合計	46,350,887	61,055,971	△ 14,705,084
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未 払 金	101,028	409,096	△ 308,068
預 り 金	37,479	40,980	△ 3,501
流動負債合計	138,507	450,076	△ 311,569
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	3,600,000	3,600,000	0
職員退職給付引当金	885,000	1,499,100	△ 614,100
固定負債合計	4,485,000	5,099,100	△ 614,100
負債合計	4,623,507	5,549,176	△ 925,669
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産	34,837,704	46,705,745	△ 11,868,041
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 34,837,704 )	( 46,705,745 )	( △ 11,868,041 )
2 一般正味財産	6,889,676	8,801,050	△ 1,911,374
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	41,727,380	55,506,795	△ 13,779,415
負債及び正味財産合計	46,350,887	61,055,971	△ 14,705,084

# 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	359,993	363,477	△ 3,484
② 受取会費			
賛助会員受取会費	0	50,000	△ 50,000
③ 事業収益			
受託事業収益	0	0	0
④ 受取寄付金			
受取寄付金	0	200,000	△ 200,000
受取寄付金振替額	11,868,041	10,870,916	997,125
⑤ 雑収益			
有価証券運用益	232,428	232,428	0
雑収益	53,026	215,500	△ 162,474
経常収益計	12,513,488	11,932,321	581,167
(2) 経常費用			0
事業費			0
役員報酬	3,990,605	3,985,309	5,296
給与手当	2,002,148	2,018,891	△ 16,743
臨時雇賃金	5,000	0	5,000
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	136,249	51,975	84,274
福利厚生費	167,025	173,971	△ 6,946
会議費	83,873	21,362	62,511
交際費	32,195	69,910	△ 37,715
旅費交通費	1,349,071	1,153,198	195,873
通信運搬費	141,047	257,243	△ 116,196
減価償却費	52,477	66,748	△ 14,271
什器備品費	0	55,935	△ 55,935
消耗品費	1,025,540	1,027,483	△ 1,943
修繕費	9,148	0	9,148
印刷費	338,467	319,572	18,895
水道光熱費	107,691	108,123	△ 432
賃借料	1,606,456	1,527,899	78,557
損害保険料	3,912	4,115	△ 203
諸謝金	115,234	0	115,234
租税公課	0	0	0
支払助成金	600,000	0	600,000
諸会費	11,080	13,080	△ 2,000
雑費	130,297	82,852	47,445

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			0
役員報酬	394,675	394,151	524
給与手当	839,154	1,078,125	△ 238,971
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	55,651	26,775	28,876
福利厚生費	68,221	89,621	△ 21,400
会議費	45,087	17,151	27,936
交際費	66,200	0	66,200
旅費交通費	70,430	44,750	25,680
通信運搬費	40,194	63,657	△ 23,463
減価償却費	685	1,127	△ 442
什器備品費	0	13,121	△ 13,121
消耗品費	16,059	18,763	△ 2,704
修繕費	2,732	0	2,732
水道光熱費	32,167	25,362	6,805
賃借料	467,688	358,396	109,292
損害保険料	1,168	965	203
租税公課	42,380	73,580	△ 31,200
諸会費	0	0	0
雑費	21,121	23,296	△ 2,175
有価証券評価損	253,735	239,014	14,721
経常費用計	14,324,862	13,405,520	919,342
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,811,374	△ 1,473,199	△ 338,175
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,811,374	△ 1,473,199	△ 338,175
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	0	5	
経常外費用計	0	5	△ 5
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,811,374	△ 1,473,204	△ 338,170
法人税・住民税	100,000	100,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,911,374	△ 1,573,204	△ 338,170
一般正味財産期首残高	8,801,050	10,374,254	△ 1,573,204
一般正味財産期末残高	6,889,676	8,801,050	△ 1,911,374
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	11,868,041	10,870,916	997,125
当期指定正味財産増減額	△ 11,868,041	△ 10,870,916	△ 997,125
指定正味財産期首残高	46,705,745	57,576,661	△ 10,870,916
指定正味財産期末残高	34,837,704	46,705,745	△ 11,868,041
III 正味財産期末残高	41,727,380	55,506,795	△ 13,779,415

# 収支計算書(損益ベース)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	340,000	359,993	△ 19,993
② 受取会費			
賛助会員受取会費	50,000	0	50,000
③ 事業収益			
受託事業収益	0	0	0
④ 受取寄付金			
受取寄付金	700,000	0	700,000
受取寄付金振替額	12,276,000	11,868,041	407,959
⑤ 雑収益			
有価証券運用益	232,000	232,428	△ 428
雑収益	55,000	53,026	1,974
経常収益計	13,653,000	12,513,488	1,139,512
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	3,991,000	3,990,605	395
給与手当	2,325,000	2,002,148	322,852
臨時雇賃金	0	5,000	△ 5,000
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	94,000	136,249	△ 42,249
福利厚生費	219,000	167,025	51,975
会議費	138,000	83,873	54,127
交際費	30,000	32,195	△ 2,195
旅費交通費	1,435,000	1,349,071	85,929
通信運搬費	163,000	141,047	21,953
減価償却費	53,000	52,477	523
什器備品費	0	0	0
消耗品費	847,000	1,025,540	△ 178,540
修繕費	0	9,148	△ 9,148
印刷費	450,000	338,467	111,533
水道光熱費	132,000	107,691	24,309
賃借料	1,627,000	1,606,456	20,544
損害保険料	4,000	3,912	88
諸謝金	99,000	115,234	△ 16,234
租税公課	0	0	0
支払助成金	600,000	600,000	0
諸会費	18,000	11,080	6,920
雑費	91,000	130,297	△ 39,297

科 目	予算額	決算額	差 異
管理費			
役員報酬	395,000	394,675	325
給与手当	788,000	839,154	△ 51,154
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	31,000	55,651	△ 24,651
福利厚生費	73,000	68,221	4,779
会議費	16,000	45,087	△ 29,087
交際費	20,000	66,200	△ 46,200
旅費交通費	54,000	70,430	△ 16,430
通信運搬費	25,000	40,194	△ 15,194
減価償却費	1,000	685	315
什器備品費	0	0	0
消耗品費	12,000	16,059	△ 4,059
修繕費	0	2,732	△ 2,732
水道光熱費	33,000	32,167	833
賃借料	407,000	467,688	△ 60,688
損害保険料	1,000	1,168	△ 168
租税公課	35,000	42,380	△ 7,380
諸会費	0	0	0
雑費	20,000	21,121	△ 1,121
有価証券評価損	0	253,735	△ 253,735
経常費用計	14,227,000	14,324,862	△ 97,862
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 574,000	△ 1,811,374	1,237,374
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 574,000	△ 1,811,374	1,237,374
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 574,000	△ 1,811,374	1,237,374
法人税・住民税	100,000	100,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 674,000	△ 1,911,374	1,237,374
一般正味財産期首残高	8,862,000	8,801,050	60,950
一般正味財産期末残高	8,188,000	6,889,676	1,298,324
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	12,276,000	11,868,041	407,959
当期指定正味財産増減額	△ 12,276,000	△ 11,868,041	△ 407,959
指定正味財産期首残高	46,675,000	46,705,745	△ 30,745
指定正味財産期末残高	34,399,000	34,837,704	△ 438,704
III 正味財産期末残高	42,587,000	41,727,380	859,620

## 計算書類の注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、取得価額で計上している。

その他の有価証券は、期末時の市場価格に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

職員退職給付引当金は、職員の期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、期末要支給額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及び残高は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
実施事業等引当資産	46,705,745		11,868,041	34,837,704
役員退職慰労引当資産	3,600,000	0	0	3,600,000
職員退職給付引当資産	1,499,100	191,900	806,000	885,000
合 計	51,804,845	191,900	12,674,041	39,322,704

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する充当額)
特定資産				
実施事業等引当資産	34,837,704	( 34,837,704 )	( 0 )	( 0 )
役員退職慰労引当資産	3,600,000	( 0 )	( 0 )	( 3,600,000 )
職員退職給付引当資産	885,000	( 0 )	( 0 )	( 885,000 )
合 計	39,322,704	( 34,837,704 )	( 0 )	( 4,485,000 )

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土 地	946,000	0	946,000
建 物	4,184,823	4,184,820	3
構 築 物	2,224,500	698,901	1,525,599
什器・備品	9,305,805	9,277,788	28,017
合 計	16,661,128	14,161,509	2,499,619

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
仙台市公募公債 5年	9,995,000	10,019,000	24,000
ロイズTSB銀行円建社債	20,000,000	20,696,000	696,000
合 計	29,995,000	30,715,000	720,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

内 容	金 額
特定資産(実施事業等引当資産)の取崩による振替額	11,868,041

7. 実施事業引当資産について

移行認可申請時の実施事業資産の内、東日本大震災にて損害を受けた財産については特別損失として除却処分した。また、実施事業等支出資産として金融資産を計上している。